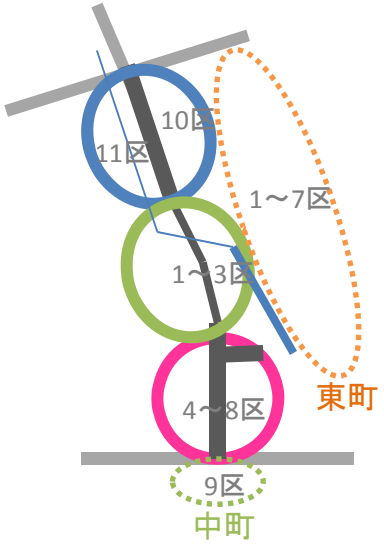
「県道 池田中町線」の今後のあり方について

地域のみんなで考えよう！



テーマ

【ゾーン毎の方向性について】

- 新しい住宅地
- 古くからの住宅地
- 商業地

※“みち”の特徴から（第1回意見交換会結果を受け）3つのゾーンに区分しました。

第3回　意見交換会

平成25年4月23日 (火) 19:30～ （2時間位）

中町集会所

検討の背景

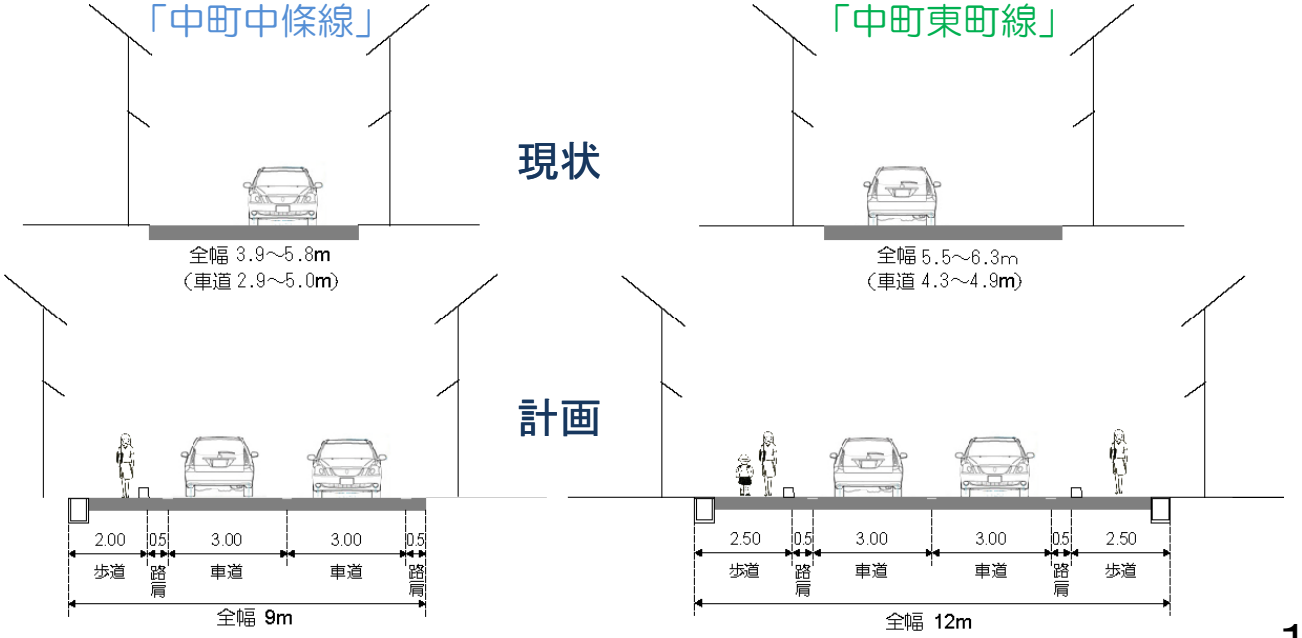
●都市計画道路としての計画

島根県では昭和37年に、県道池田中町線（中町中條線および中町東町線）を、都市の健全な発達と秩序ある整備を図るため、拡幅を行う都市計画道路のひとつとして位置づけました。

●道路のあり方を検討する背景

社会情勢の変化や周辺道路の整備による環境の変化から、現在でも未改良の整備されていない道路となっています。
この未改良の区間について、より良い道路とするために、地域の皆様のご意見を伺いながら今後のあり方を検討しているところです。

都市計画道路▼



県道 池田中町線　第3回意見交換会　【全体の流れ】

意見交換会の位置づけ

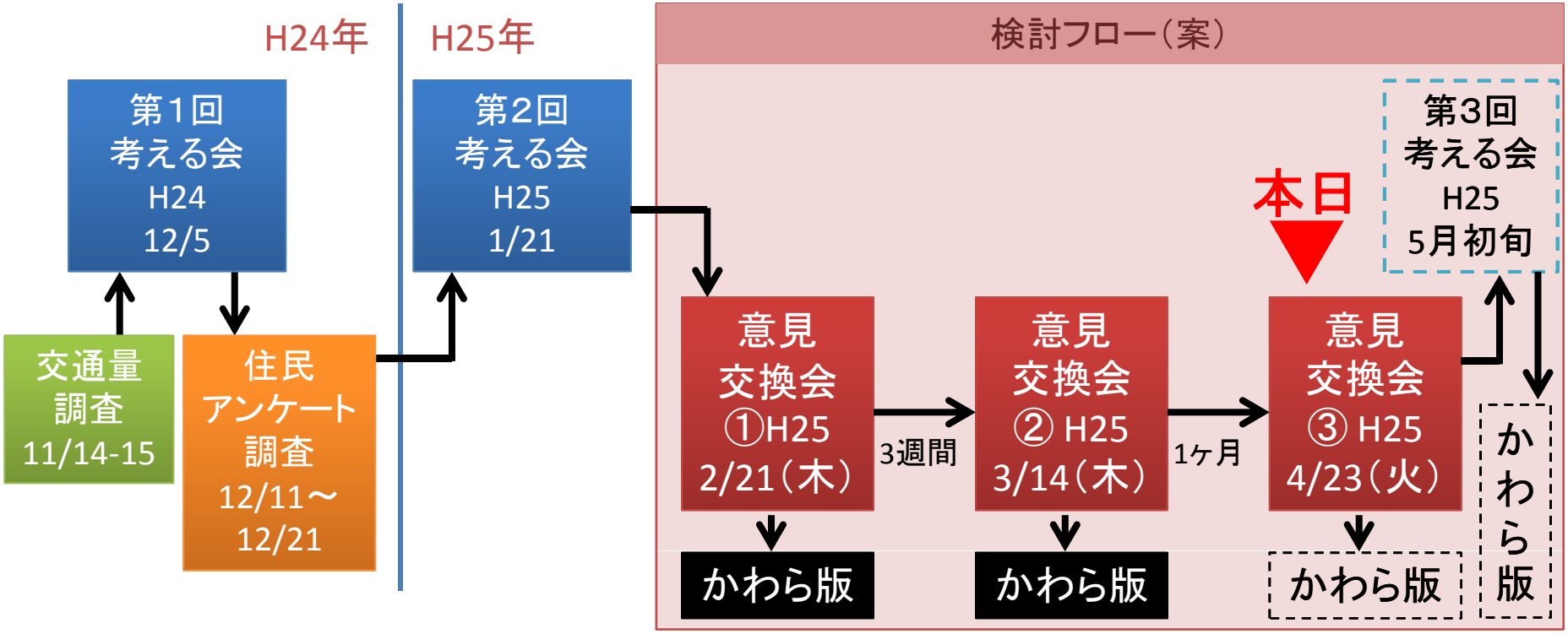
●県道 池田中町線を考える会

地元関係者、隠岐の島町関係者、島根県関係者で組織し、基本的な考え方・進め方を、整理・共有・調整する場。

●意見交換会（沿道の方を対象）

沿道の方を中心に道のあり方を意見交換する場。

スケジュール ▼



県道 池田中町線　第3回意見交換会　【これまでの経緯】

第1回意見交換会結果

どんな“まち”や“みち”にしたいかな

- ●地域のコミュニティを維持
- ●高齢者が歩いて用事ができるまち
- ●将来を考え若者も住みやすい地区
- ●まちの賑わいを取り戻したい

望むのは

広くて安全な道

将来を考え

拡幅

という意見もある

でも・・・

現実を考えると・・・。
「拡幅しない方法で工夫」

具体的には

- ●所々に待避所
- ●歩行者優先のみち
- ●歩車共存道などで工夫

道やまちの特性から

3つのゾーンに分類しました

第2回意見交換会結果

今後のあり方を考える

共通して望むのは

✕ 車のための道ではない
○ 歩行者があるきやすい道

具体的な意見

【全体として】
・車の走りやすい道ではなく、歩行者が歩きやすい道

【道路の幅について】
・道路の幅は、箇所毎に変えるのではなく同じがよい
・道路の幅は、本当に狭いところのみ拡幅し、基本現状を活かす
・長い目で将来を考えると思い切った作戦も必要

【安全な歩行空間について】
・道路のデザインで歩道を確保
・スピードを落とす工夫が必要
・車の減速により交通事故の防止を

【共存道路の導入について】
・住宅地①や商業地は、道路の幅もあり実現できそう
・路面は車と歩行者で共有する。そのためにも一部は広げる

【商業地について】
・商業地については、商業に適した車や人通りのある道にする

【その他の工夫】
・カラー舗装　・側溝整備　・ブロック塀撤去　・待避所案　など

基本理念

車の走りやすい道ではなく、歩行者が歩きやすい道

－　高齢者、小学生・中学生、若者が安心して歩ける道　－

方針

できるだけ「拡幅しない方法で工夫」

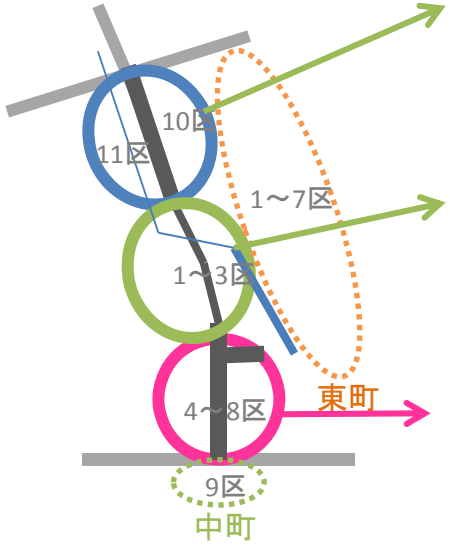
→　歩車共存道、　様々な工夫案で考える

地区内の交通安全を考え実施を検討すること。

- ●交通量を減らす　→地区外の人の協力も得て実行
- ●速度を落とす（時速30キロ以内）　→様々な工夫で実行
- ●車と歩行者の距離をとる　→できるだけ拡幅はしたくないので無理（どうしても狭い一部は検討）

目指すべき方向性について、地域ニーズを確認します。

【ゾーン毎の考え方】



●新しい住宅地

人と車がともに「安全」な空間を目指します。

○人：地域の歩く人、学校へ通う子ども達　など
○車：スクールバス、小学校への車、バス　など

●古くからの住宅地

現状を工夫することを基本とします。

※歩車共存道の場合、一定の区間を広げる必要があります

●商業地

まちの賑わいを考え、商業地に相応しい空間を目指します。

共通事項として「実施できそうなこと」

●車のスピードを抑える仕掛け（例：速度規制）
●地区外の車への影響を最小限に（例：環状道路の信号連携）
●路面を歩きやすく改善（例：凸凹、かまぼこ状、側溝のふた）

県道 池田中町線　第3回意見交換会　【ゾーン別の現況】

●新しい住宅地　◆距離：325m　◆道路の幅　5.0～8.6m　（車道のみ4.2～6.5m）

ホンダカーズ付近
8.6（6.5）▶

◀ 5.0（4.2）
一畑付近

●古くからの住宅地　◆距離：450m　◆道路の幅　3.9～6.0m　（車道のみ2.9～5.0m）　※特に狭い（幅5m以下）ところ325m

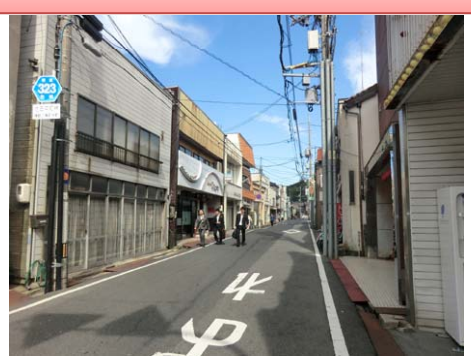
小学校への道路付近　4.5（3.7）

住宅地内　4.7（3.5）

商工会前　6.0（5.0）

●商業地　◆距離：178m　◆道路の幅　5.5～6.3m　（車道のみ4.3～4.7m）

臨港道路への
曲がり角
奥5.5（4.3）
手前6.0（4.9）▶



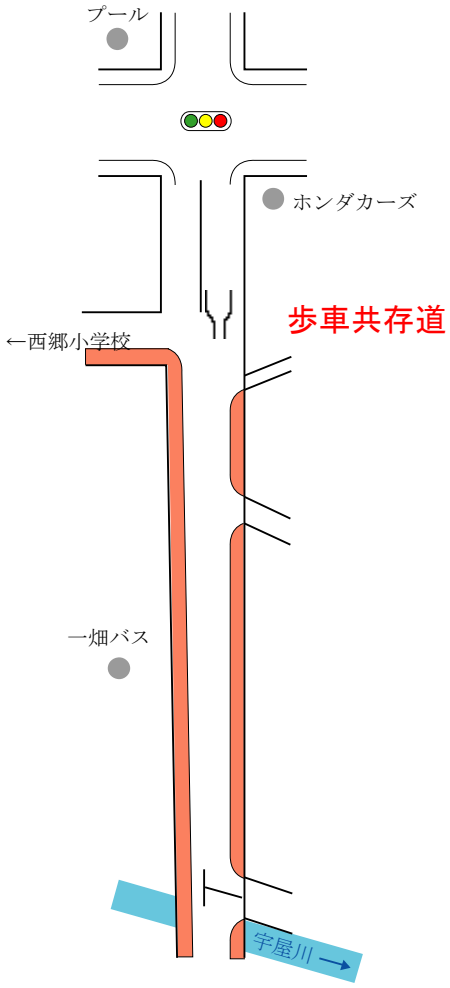
◀ 左6.3（4.7）
右6.2（4.8）
商業地内

新しい住宅地での整備方法

考えられる方法からこの区間に相応しい案を選んで下さい。

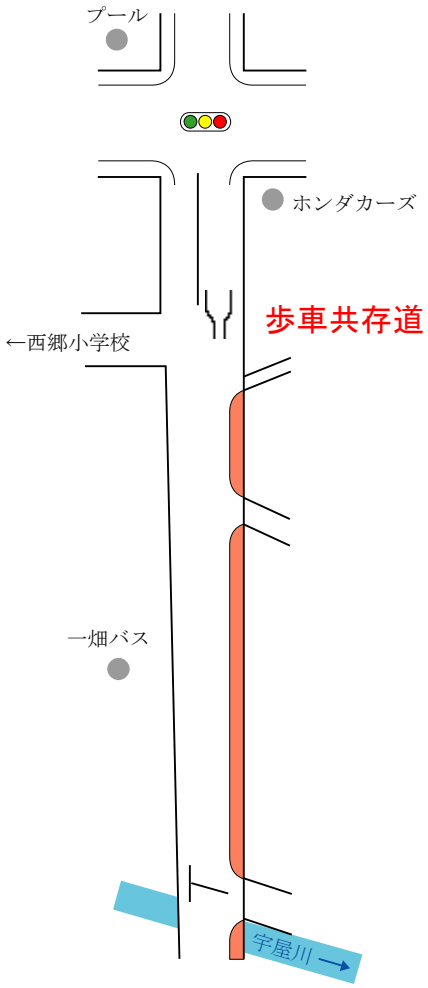
A：車道を狭くする案

歩道を両側に配置

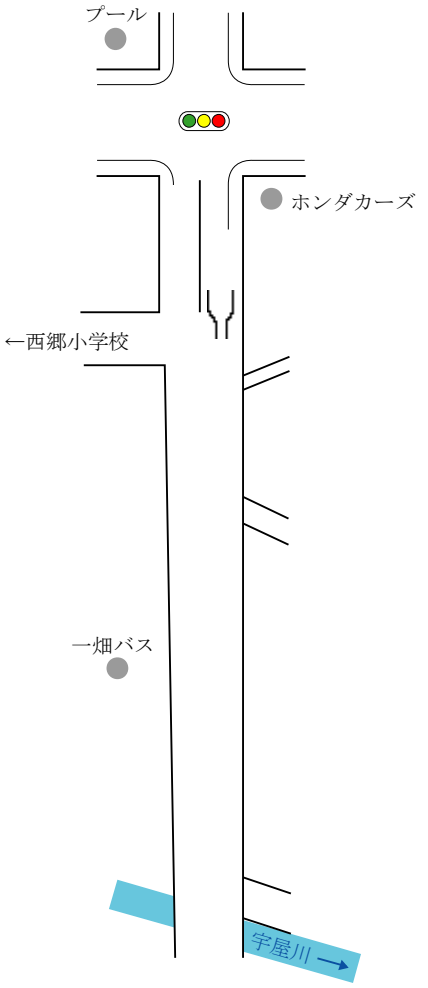


B：車道を一部狭くする案

歩道を片側に集約



C：車道幅変更なし案



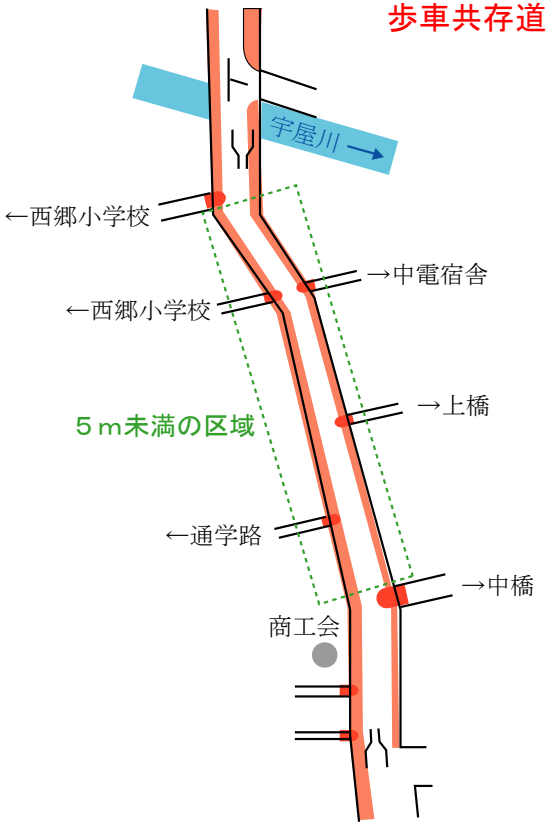
その他

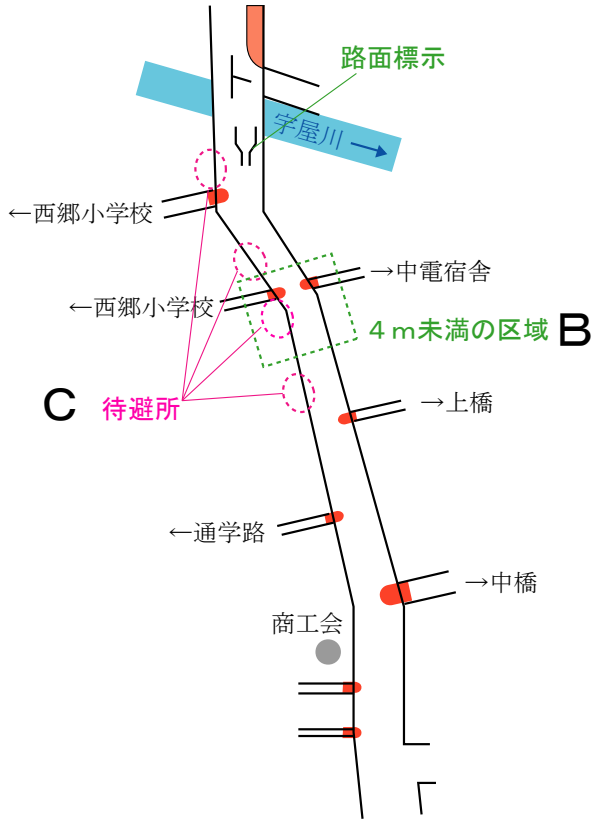
古くからの住宅地での整備方法

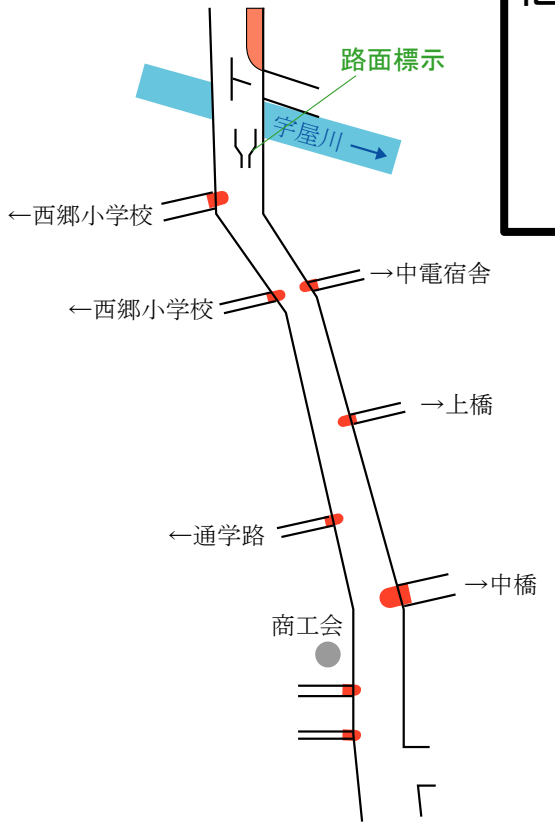
考えられる方法からこの区間に相応しい案を選んで下さい。

- A：特に狭いところ（5m未満）を広げる案
- B：一番狭いところ（4m未満）や見通しの悪いところを広げる案
- C：一番狭いところ（4m未満）や見通しの悪いところに待避所案
- D：車道幅変更なし案
  - ・路面標示
  - ・小路にカラー舗装
  - ・カーブミラー　など

その他





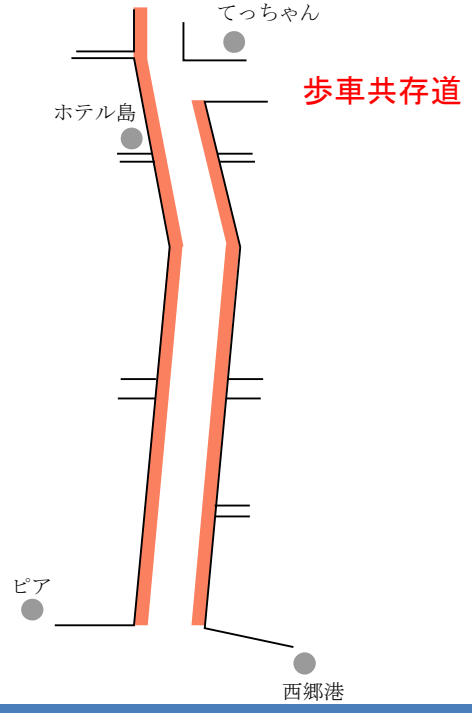


商業地での整備方法

考えられる方法からこの区間に相応しい案を選んで下さい。

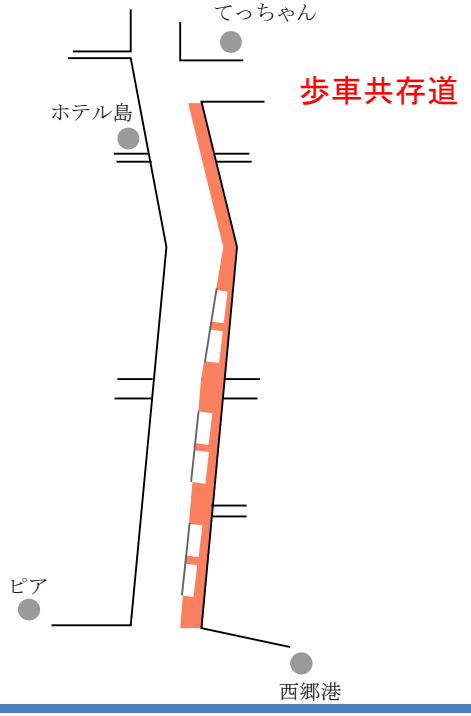
□ A：車道を狭くする案

歩道を両側に配置

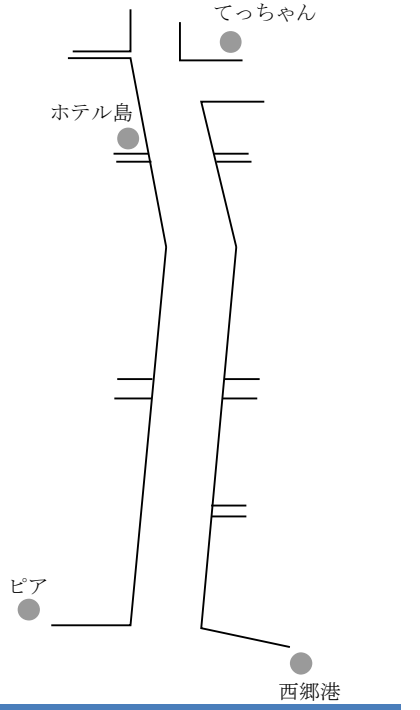


□ B：停車空間をつくる案

歩道を片側に集約
（歩道内に停車空間）



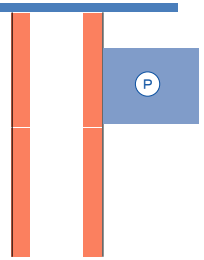
□ C：車道幅変更なし案



□ その他

オプション：空地の活用

関係者との調整が必要となりますが、
商業地としての活性化を考え、一部の空き地を活用して、共同の駐車場を確保する案



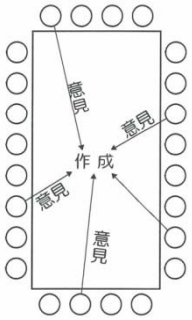
ワークショップ方式で行います。

ワークショップとは▼

- ワークショップは、参加者自らが、共同作業を行う中で提案や計画をまとめる手法です。
- ワークショップでは、参加者ひとりひとりが意見をより表現しやすくするため、少人数（7～9人程度）によるグループ作業が中心となります。

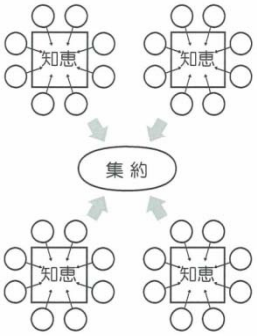
特徴と良いところ▼

従来の方法（審議会方式）



- 大人数の前では、言いたいことがなかなか言いにくい
- 時間の制約により、全員の意見が出にくい（見えない）（全員が発言する時間がない）
- 限られた声の大きい人の発言や意見に左右されがち

ワークショップ



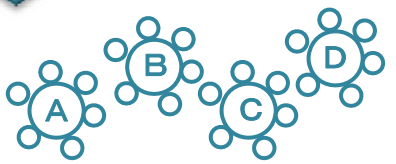
- 小人数のグループ作業が中心なので意見が言いやすい
- 小人数のグループに分かれて作業をするため全員の意見が出せる（見える）
- 参加者全員の意見をまとめる形で結果を整理

進め方のイメージ▼

テーマを設定：「〇〇について考えよう」

■各グループ単位で検討

同一テーマのもとグループに分かれて検討作業を行い、成果をまとめます



■グループごとに成果を発表

各グループで話し合った結果を、それぞれみんなの前で発表します。

全体でまとめ　各グループの結果を全体で確認しながら、ひとつの成果にまとめ上げていきます。

①各ゾーンについて、「良いと思う案」に　●シールを貼って下さい。
②付せんに、「良いと思う理由」を書いて貼って下さい。

例

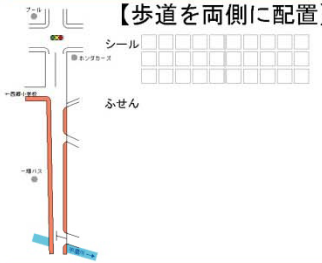
例

県道池田中町線　ゾーン毎の方向性について

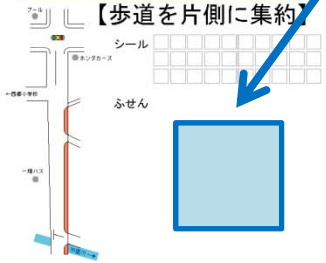
班

新しい住宅地

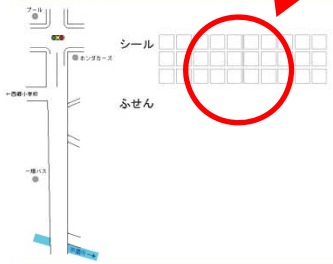
A 車道を狭くする案
【歩道を両側に配置】



B 車道を一部狭くする案
【歩道を片側に集約】



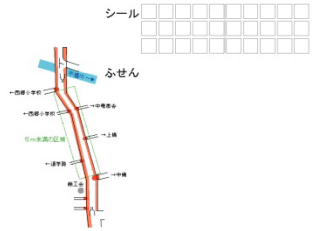
C 車道幅変更なし案



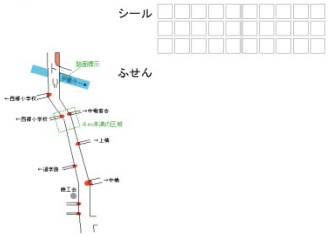
その他　その他　その他

古くからの住宅地

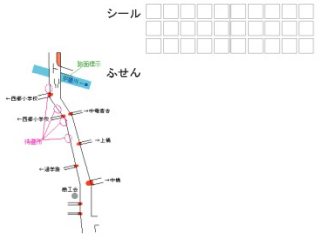
A 特に狭いところ（５m未満）を広げる案



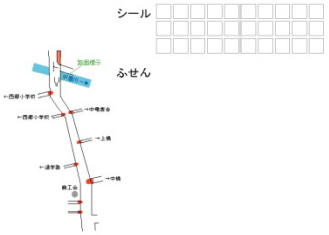
B 一番狭いところ（４m未満）や見通しの悪いところを広げる案



C 一番狭いところ（４m未満）や見通しの悪いところに待避所案

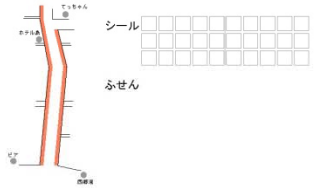


D 車道幅変更なし案
・路面標示・小路にカラー舗装 ・カーブミラー など

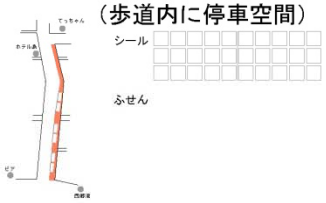


商業地

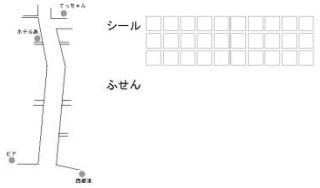
A 車道を狭くする案
【歩道を両側に配置】



B 停車空間をつくる案
【歩道を片側に集約】
（歩道内に停車空間）



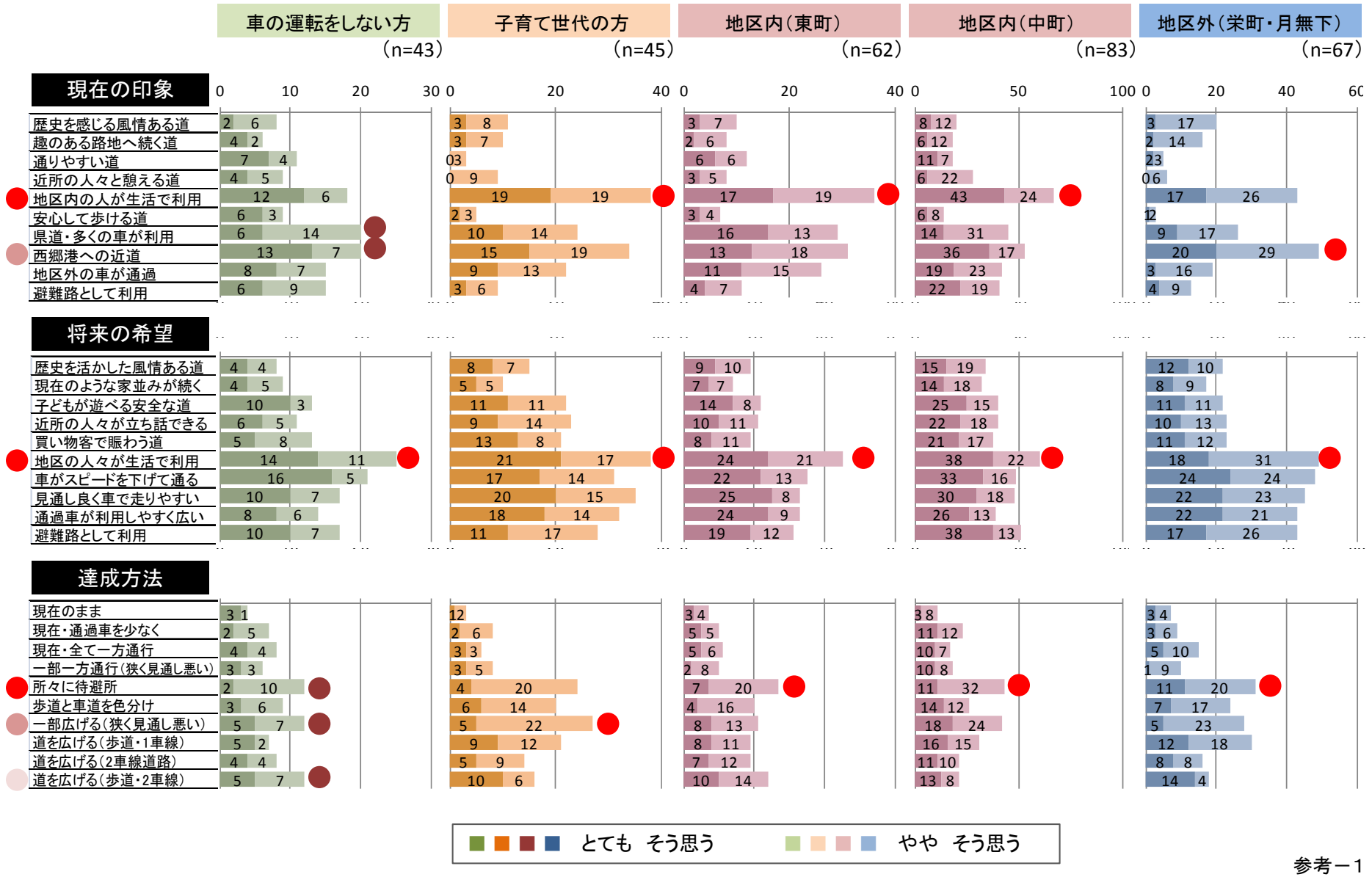
C 車道幅変更なし案



オプション　P

県道 池田中町線　第3回意見交換会　【参考：アンケート調査結果】

アンケート概要▼　3. 道路に対する印象・期待　＜地区内外別、運転されない方、子育て世代＞



考えられる方法の紹介▼　島根県内の事例紹介

■歩車共存道

「歩行者、自転車のｻｰﾋﾞｽを優先し、自動車に対するｻｰﾋﾞｽを限定する道路」

松江市内

海士町

奥出雲町

■カラー舗装による工夫

松江市内

■待避所と路面標示

松江市内

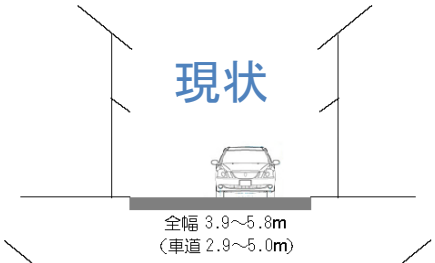
■ミラーや路面標示などによる工夫

松江市内

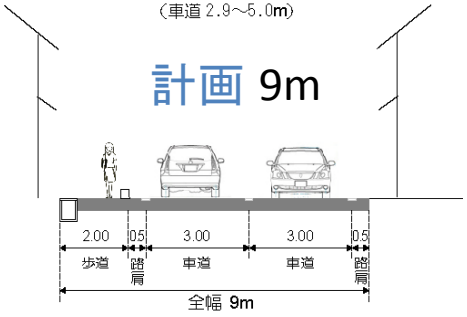
当該路線

参 考　都市計画道路「中條中町線」

現状

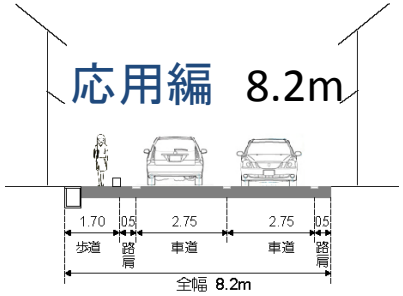


計画 9m



- ○車道部分　3m＋3m
- ○路側帯　0.5m＋0.5m
- ○歩道（片側）　2m

応用編　8.2m



- ○車道部分　2.75m＋2.75m
- ○路側帯　0.5m＋0.5m
- ○歩道（片側）　1.7m

歩車共存道の考え方

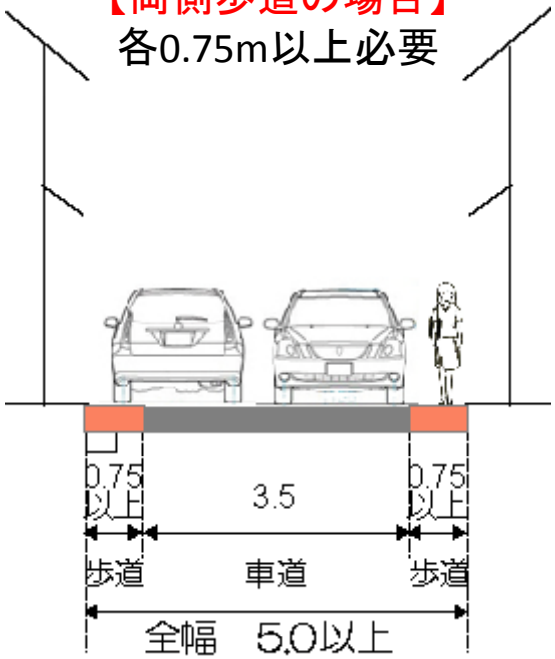
●道路幅　5m以上

※ 道路の平面形状を考える時、角々した道とならないよう滑らかなカーブを描いていきます。このため、ところどころに5mを超える幅が必要なところが発生する場合があります。

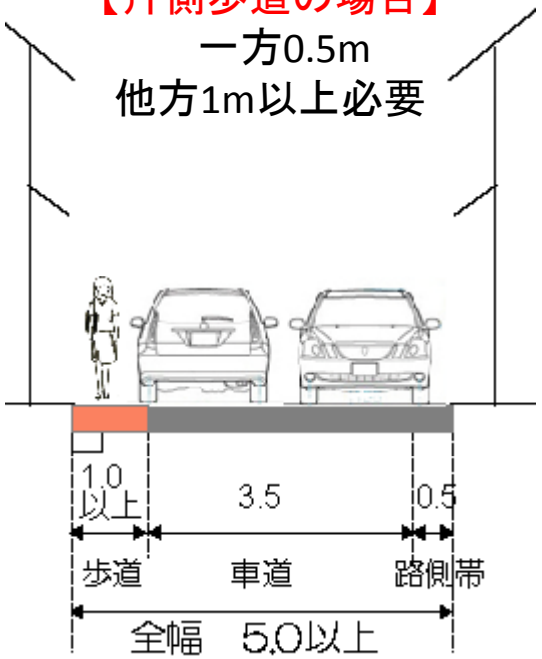
●車道部分　3.5m

●歩道部分

【両側歩道の場合】
各0.75m以上必要



【片側歩道の場合】
一方0.5m
他方1m以上必要



第3回意見交換会

おわり